

震災チャリティ・オークション（７月３０日）

３０日夜、オアハカ州オアハカ・デ・フアレス市（州都）において、同州在住の日本人画家・竹田鎮三郎画伯のイニシアティブにより震災チャリティー・オークションが開催され、目賀田大使が出席しました。

今回のオークションには、多くのオアハカ在住のメキシコ人アーティストから作品の提供がありました。会場となった画廊には５０人以上の来場者があり、また３３作品が買い取られました。



その後８月１０日、竹田画伯及び画廊オーナーでオークションの発起人であるアルヌルフォ・メンドサ画伯が目賀田大使を訪問し、今般のオークションの収益金１０万ペソ（約７０万円）を手交しました。同収益金は、東日本大震災の義捐金として、当館から日本赤十字社を通じて被災者の方々に送られる予定です。



（了）